

歴史館まなび隊

2

鎌倉時代の善光寺

ここでは、今から700年以上前の鎌倉時代善光寺のようすを再現しています。

善光寺は信濃国だけではなく、全国からたくさんの人たちが集まる「三国一の霊場」といわれていました。善光寺のご本尊は「阿弥陀如来」といいます。阿弥陀如来は、亡くなった人びとを極楽へ呼んでくださいます。善光寺の仏さまこそ、日本に最初にやってきた阿弥陀如来と信じられていました。もっとも、この仏さまは決してだれも見ることのできない「秘仏」ですが、このご本尊をまねて造られた「前立本尊」でその姿をしのぶことができます。善光寺のご本尊をまねて全国各地で「善光寺仏」が造られ、善光寺ブームとなりました。

鎌倉時代は低温の年が続き、度々飢饉が起きました。飢饉になると人びとは争いを起こしがちです。病気もはやります。そのような中、現世に希望が持てなくなった人びとは阿弥陀如来にすがり、死後の幸せを祈ったのでしょう。

鎌倉時代のようすを描いた『一遍聖絵』という絵巻物を見ると、当時の善光寺に集まる人びとのようすが描かれています。これを参考に再現したのがこの展示コーナーです。

説明

A：善光寺の復原模型

B：パソコンでしらべてみよう。「古代中世の信濃」

C：亡くなった人をとむらう塔です。

D・E：裾花川と木の橋

F：地獄絵図がうかびがあります。

日がしずむ夕日どきは、なにかふしぎな感覚におそわれます。浄土への道「白道」はあなたには見えますか？

G：馬にのった武士も善光寺の入口では馬からおりなければいけません。

H：「たな店」には、わらじなどはき物、クルミ・ほし柿など日常品を売っています。

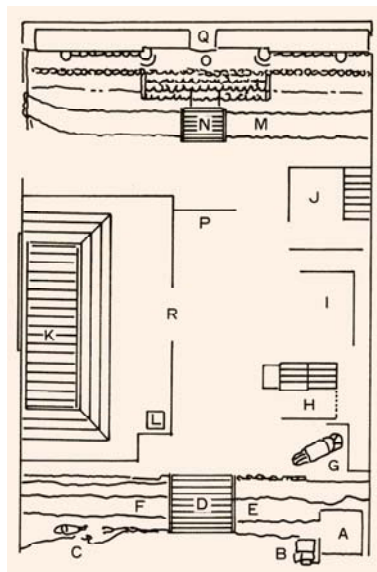


図 善光寺門前のたてもの

